

市の動き

きたかみ牛フェア開催中！
抽選できたかみ牛をプレゼント！

きたかみ牛消費拡大推進協議会では3月14日まで、きたかみ牛を取り扱う市内飲食店で「きたかみ牛フェア」を開催しています。期間中、次の飲食店で、きたかみ牛を使用した料理または北上コロッケを食べ、アンケートに答えて応募すると、抽選で40人にきたかみ牛コースすき焼き用(400g)が当たります。詳しくは、同フェアに参加している飲食店に設置しているチラシをご覧いただくか、農林企画課(☎72-8236)へお問い合わせください。

北上コロッケ提供店

店名	住所	電話番号
四季乃味 枕流亭	川岸3-15-20	63-3033
おでん 千石	青柳町1-2-22	63-2086
創作居酒屋 テナモンヤConnection	青柳町2-6-35	61-2501
金寿司	村崎野14-432-59	66-5646
喜乃字 本店	北鬼柳18-18-1	64-3310
喜乃字 パル店	北鬼柳19-68	65-3926
一翔	大通り1-3-26	65-5511
フェリーチェ ピストロ felice	さくら通り2-4-23	65-0958
アリーブ北上店	大通り1-3-27 入山北ビル1階	61-0484
草のホテル 和食処湧水	大通り2-9-8	65-1712
和食処 きくすい 北上店	柳原町5-12-30	62-0022
ピノキオ さくら野店	本通り2-2-1	65-2915
和食ダイニング なごみ家	本通り2-2-1	65-2830
ピノキオ 諏訪町店	諏訪町2-2-10	72-5994
風土	青柳町2-7-1	64-2010
お惣菜風土 クッチーナ	孫屋敷6-1	64-2788
大安楼	諏訪町2-6-20	63-2221
菊寿し	大通り3-11-21	63-6374
食事処 時代屋	相去町旧館沢18-3	67-3956
割烹 鎌倉 青柳店	青柳町2-2-24	65-6868
鎌倉 中央店	青柳町2-5-34	65-6900
味噌屋 がんこ亭	村崎野19-296-5	71-1133
郷土芸能居酒屋 鬼剣舞	北鬼柳32-44	63-2288

きたかみ牛メニュー提供店

店名	住所	電話番号
アリーブ北上店	大通り1-3-27 入山北ビル1階	61-0484
宴会処 一番館	花園町2-2-13	64-5161
カーザピッコラ&ピストロ 最是流	青柳町2-4-22	65-1955
割烹 鎌倉 青柳店	青柳町2-2-24	65-6868
鎌倉 中央店	青柳町2-5-34	65-6900
季節料理 豊八	諏訪町1-1-9	64-1942
こうりん 煌林	堤ヶ丘1-6-14	63-2626
胡蝶	諏訪町1-1-11	63-2151
和食処 きくすい	柳原町5-12-30	62-0022
展勝地 レストハウス	立花14-21-1	64-2110
フェリーチェ ピストロ felice	さくら通り2-4-23	65-0958
ホテルシティプラザ北上 和食処 日高見	川岸1-14-1	64-0001
ラ タヴェルナ La Taverna	本通り1-5-31	61-0822
ばんぼんてい 燐々亭	大通り1-2-22	65-5616
味工房 新亀家 北上	諏訪町2-1-26	65-5612
てんしょうかく 巖升郭	青柳町1-2-32	63-3906
ダイニングキッチン 侍	青柳町2-3-9	64-7260
創作居酒屋 テナモンヤ Connection	青柳町2-6-35	61-2501

これからの復興支援のあり方を考えるため
北上市震災復興支援シンポジウム開催

北上市ときたかみ復興支援協働体が主催する「北上市震災復興支援シンポジウム」は1日、日本現代詩歌文学館で行われました。

これは震災から3年目を迎えるようとする節目の時期に、これまでの支援活動を振り返り、これからの復興支援のあり方を考えることを目的に開催したものです。県復興局の佐々木和延副局長から県復興計画の進捗状況、高橋敏彦北上市長と同協働体の館邦雄会長から復興支援活動の取り組みについて報告があったほか、RCF復興支援チームの藤沢烈代表理事、いわて連携復興セ

ンターの鹿野順一代表理事、弘前大学教育学部の北原啓司教授の、協働パートナー3人から活動報告がありました。

また、高橋市長と協働パートナーに復興庁の岡本全勝統括官と戸田公明大船渡市長を交えて行われたパネルディスカッションでは「これまでの復興支援活動の検証と今後の復興支援活動のあり方を考える」をテーマとして、北上市のこれまでの活動や、被災地が応援を受けた後自らの力によるまちづくりに進むための支援方法と体制づくりについて意見交換が行われました。

北上第1・第2ソーラー発電所 愛称「かむいソーラー」に決定

▽最優秀者：三田長義さん
(北鬼柳)

▽説明：江釣子の地名は、カミイ・ヘチリコホ(アイヌ語で神々の園)が語源との説から引用。初めての太陽光の利用施設であり神からの恵みを

表現した

▽選定理由：地名の語源から地域性が表現され、市民に親しまれる施設となる効果が期待できる

▽問い合わせ：環境課(☎72-8283)

協働による住みよい社会環境づくりのため 第5回女性模擬議会開催

きたかみ市各種女性団体協議会主催の第5回女性模擬議会は1月29日、北上市議会議場で行われました。

同模擬議会は、女性の社会参画と地位向上を図りながら、協働による住みよい社会環境づくりをすすめることを目的に平成12年から実施しており、前回からは3年ぶりの開催。同協議会会長の齋藤和香子さんが議長を、同協議会構成団

体から選ばれた30人が議員を務めました。

一般質問には、眞田芳枝さん(北上地区更生保護女性の会)、佐藤光子さん(北上地方生活研究グループ連絡協議会)、多田静子さん(北上市母子寡婦福祉協会)、鈴木弥生さん(JAいわて花巻女性部北上地域支部)、高橋悦子さん(北上市地域婦人団体協議会)が登壇。子育て支援や北

地域への活動支援を図るNPO法人を認証

特定非営利活動(NPO)法人設立認証書交付式は10日、市役所本庁舎で行われ、特定非営利活動法人日本地域振興

ネット協会(佐藤基^{もと}理事長)に認証書が交付されました。

同法人は、人々の生活を支え、豊かで安心して暮らせるまちづくりの発展に寄与することを目的に、福祉や防火防災防犯、観光や市民交流のために地域活動を行います。

佐藤理事長は、「北上市観光おもてなし検定などでまちおこしをして、北上市の商品をPRするなど全国に向けて発信していきたい」と今後の抱負を話していました。



認証書を受け取る同法人の佐藤理事長(左)



ひとり親家庭の支援について質問する多田さん

上市の食文化、農業振興の活性化に向けた対策やごみ問題などの質問が相次ぎ、一般市民など約50人の傍聴人が見守る中、市長や担当部長による答弁が行われ、本議会さながらの模擬議会となりました。

市内の避難者状況

(1月31日現在)

田野畑村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市
1世帯	11世帯	28世帯	72世帯	49世帯
4人	18人	63人	140人	122人
大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	市内間
16世帯	30世帯	21世帯	18世帯	3世帯
32人	54人	50人	48人	6人

※市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

友好都市石垣市

珈琲ブレイク

26

北上市長

高橋 敏

1月25日、当市と沖縄県石垣市との友好都市提携締結式が石垣市民会館で行われた。

交流のきっかけは、平成5年の岩手の大冷害であり、石垣市の種^{たね}増殖支援によって岩手の稲作が救われたことはご承知のとおりである。その後、当時岩手県農政部長だった北上市出身の故高橋洋介氏らが中心になって岩手県と石垣市とのいわゆるかけはし交流が続いてきた。当市とは、いわて北上マラソンと石垣島マラソンとの選手交流が続いている。東日本大震災があった平成23年には、石垣市からの訪問団が義援金を携えて沿岸被災地を訪れ、さらに、中山義隆石垣市長は、3年連続でいわて北上マラソン10^キに参加し、大会を盛り上げていただいている。

石垣市は、観光と農業が主な産業で、周囲が美しいサンゴ礁に囲まれた日本最南端の市である。昨年3月の新石垣空港開港によって、現在70万人の年間観光客は今年中にも100万人を超えるものと思われる。締結式の翌日には石垣島マラソンが過去最高の4千600人が参加して開催され、私も中山市長との約束もあって大応援の中10^キを完走させていただいた。

さて、これからの交流のあり方を考えると、スポーツ、文化面での交流の他に、当市としては課題である観光面について、きれいな海水を使った石垣の塩やサトウキビからとれる黒糖などの身近な資源をフルに活用した物産開発やおもてなしの仕掛けには多いに学ぶところがあると思っ

ている。昨年のいわて北上マラソンに過去最高の参加者を得られたのも石垣島マラソンとの交流の成果かも知れない。

今回の友好都市提携は、20年間の市民同士の交流が実ったものであるが、関係者の努力に報いるためにも、この交流をぜひ両市の発展に結び付けていきたいものである。